

PRECISION BASS®

フェンダーのオリジナルエレクトリックベースが音楽の歴史の中に登場したときの影響というものを正確に評価するということは、とてもむずかしいことです。今日ではあたり前のことのように思われています。が、もし私たちがエレクトリック・ベースのない世界というものを想像してみるならば、我々が今聞いているポップ、ロックそしてジャズ・ミュージックというもののほとんどが、プレジジョンベースなしで発展し得たかどうかという疑問に強いられるでしょう。

さて、今日の音楽の多くは、その活力をライブ演奏から得ています。そのライブ演奏というものは、全てのバンドの陰の推進力としてのベースサウンドに、かなりの部分の重要性を認めることができます。ロックやジャズのアンサンブルの中でも、十分聴くことのできる大きな音で演奏でき、コンパクトかつ扱いやすいベ

ースギターなしには、又、このベースの中心的役割というものは、発展し得なかったでしょう。

幸運にもフェンダーが、このような楽器を創造することに気付いたので、そして1951年に、プレジジョン・ベースとして紹介しました。(“プレジジョン”なぜならフレット付のネックは、全ての音の正確なピッチを保証したからです)この楽器はま



もなく、ポピュラーな存在になり、“フェンダー・ベース”という言葉は、そのままブランドにかかわらず“エレクトリック・ベース”を意味する代名詞となりました。そして何年も経て、ダック・ダン、ティム・ボガードそしてラリー・グラハム等の伝説的な歴史の演奏家、そして他の何千人もの演奏家たちが、フェンダー・ベースから音楽の歴史を作ってきました。

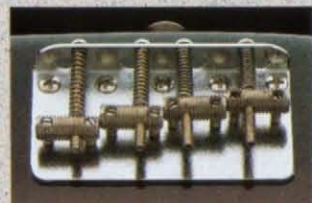
VINTAGE PRECISION BASSES

’52年テレキャスター、そして’57年、’62年ストラトキャスターの再生産を始めた同じ精神で、フェンダー技術陣は、注意深く2種類のクラシック・プレジジョン・ベースの再生産を始めました’57年、’62年ビンテージ・モデルです。この両方のモデルとも現代の音楽の歴史の中における重要な2つの年を忠実にとらえた、オリジナルモデルの丹精こめたレプリカ・モデルです。

’57PRECISION BASS

イエローラッカーが施された、メイプルネックからツードンカラーのサンバーストまで、そして金の陽極処理がされたアルミピックガードをともなった、このクラシックなベースギターは、ロックンロールの生まれた時代の重要な要素のひとつ、本物の再生産モデルです。オリジナルのボディ材は、一吟味されたアルダー材一を使用し、’57年の著しく軽くそして特別に素晴らしいトーンを復活させています。ねじ山のあるブリッジ・サドル、そして丸味のあるノブ等は、現代版の真実性を、より完全にしています。クロームのブリッジとピックアップカバーを、オリジナ

ルのモデルは備えていましたが、ほとんどのプレイヤーがそれらを取り除いているため、それらは装着していません。’57年モデルは、左側に見られる様なサンバーストと下記の5種類のカスタム・ビンテージカラーがあります。



SPECIFICATIONS

Pickups	’57 PRECISION BASS 2 single-coil series wired diametrically phased
Controls	1 volume, 1 tone
Pickup Switching	none
Scale Length	34"
Fretboard	maple
Neck Width at Nut	1.750"



Candy Apple Red
Vintage White
Black
Lake Placid Blue
Fiesta Red



Donald "Duck" Dunn